

2018年10月9日



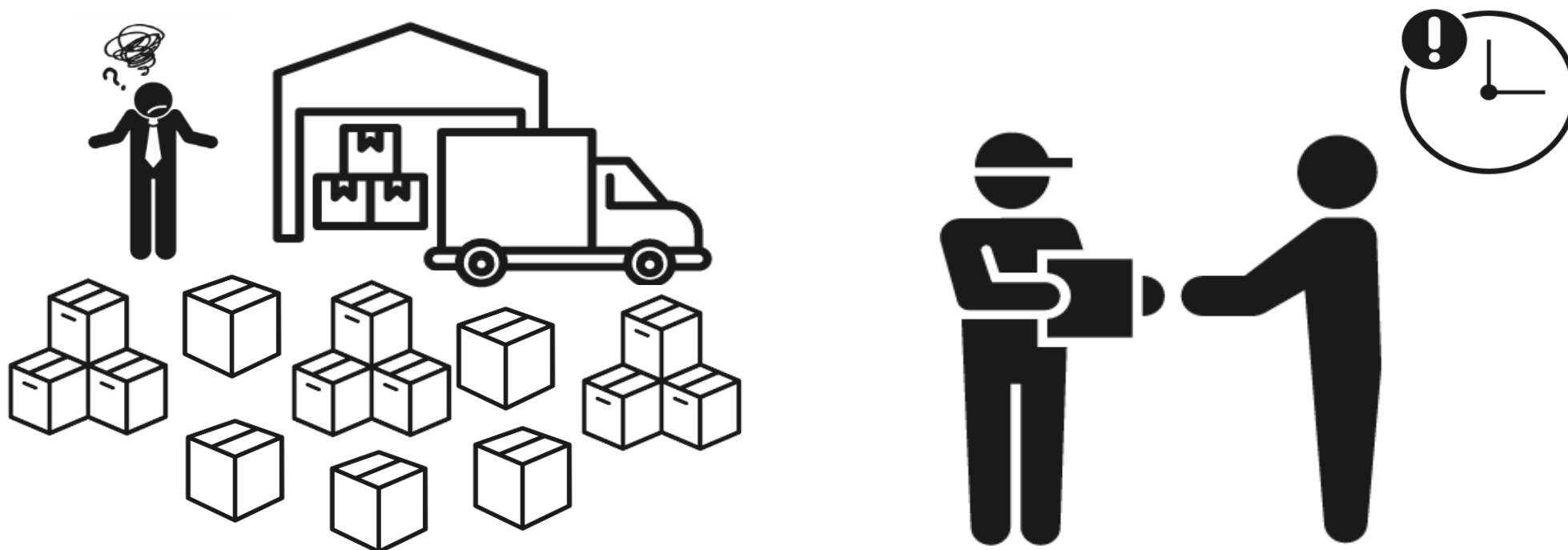
# 株式会社ダイフクとの 戦略的グローバルパートナーシップについて

株式会社ファーストリテイリング  
グループ執行役員  
神保拓也

- ① **ユニクロ物流の大混乱**
- ② **物流改革への挑戦**
- ③ **物流改革からの学び**
- ④ **ダイフク社との取組み**
- ⑤ **今後の展開**

# ① ユニクロ物流の大混乱（2015年）

# ① ユニクロ物流の大混乱



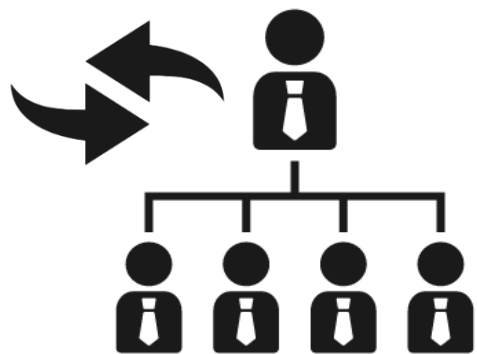
- 物流パートナーに業務を丸投げしていた為、実際に物流現場で何が起きているのかを把握できていなかった
- 物流の混乱を物流部だけで解決しようとしていた
- 物流のあるべき全体像/戦略を考えることができていなかった

## ② 物流改革への挑戦（2016年9月～）

## ② 物流改革への挑戦

### Phase.1

マネジメント体制も含めた  
大幅な組織改革

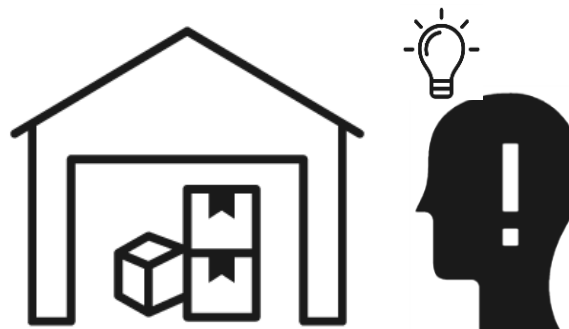


- 物流部を解体し、グローバルサプライチェーンマネジメント部を新たに立ち上げ

➢ 物流バックグラウンドの人材だけではなく企画・計画・生産・物流・販売などサプライチェーンに関わる人材をアサイン

### Phase.2

現場・現物・現実での  
本質的な課題発見



- 現場に頭から突っ込み発見した本質的課題

- ① サプライチェーンに関する重要な数値・モノの流れが見えない
- ② 販売に連動しない早期・大量入庫
- ③ 物流パートナーに依存した、統一されていない倉庫オペレーション
- ④ コスト管理の不徹底

### Phase.3

物流パートナーと  
信頼関係を再構築し、  
一体となって課題解決



- 足元の混乱を早急に解決するための打ち手

- ① 全ての情報を可視化する専門チーム、経営コックピット・SCM情報センターを立ち上げ
- ② 賃料の安価な生産国の倉庫で在庫を留め置き
- ③ 物流パートナーとの契約体系・倉庫オペレーションを統一
- ④ 物流に関わる経営管理チームの立ち上げ

## ③ 物流改革からの学び

### ③ 物流改革からの学び

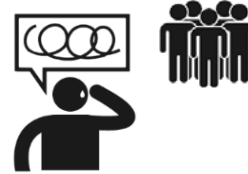
自分たちで現場の課題に  
頭から突っ込み、人海戦術で  
改革を推進したからこそ、  
このまま人海戦術を続けていても  
すぐに限界が来ることを悟った



人件費の高騰



集人難



教育コスト



売上/利益の向上



「物流＝コストセンター」ではなく  
「物流＝プロフィットセンター」と捉え、  
サプライチェーン全体の改革必要

お客様満足  
の向上



物流ノウハウ  
の蓄積





**世界最先端技術を用いた、  
進化し続ける、  
超省人化アパレル倉庫**

## ④ ダイフク社との取組み（2016年12月～）

# ④ ダイフク社との取組み ～なぜパートナーに選んだのか?～

## あるべきパートナー 選定の条件

- ① グローバルでの事業展開 / 幅広い経験と知見
- ② 世界最先端の技術
- ③ 時代/市場の変化・技術進化への対応力
- ④ 企業文化の親和性
- ⑤ 経営陣のコミットメント

## パートナー選定

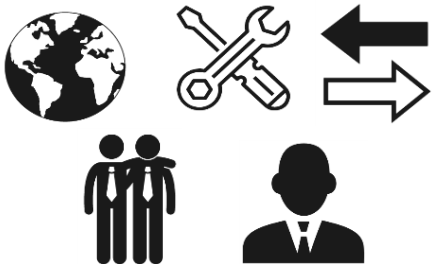
倉庫自動化戦略を実現するために、ありとあらゆる世界中のマテハンメーカーに会いに行く



## 結果…

80年の歴史を持ち、マテハン業界世界No.1のシェアでありながら、最先端技術を取り入れ、今もなお革新し続けている

両社が互いの理念に共感し、経営陣が倉庫の世界にイノベーションを起こすことにコミットしている



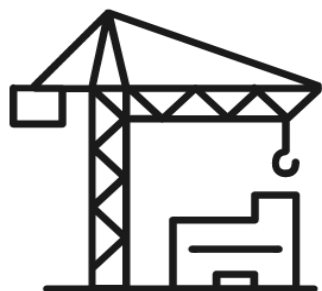
**DAIFUKU**

## ④ ダイフク社との取組み ～自動倉庫の立ち上げ～

### 当初のプランニング

まずは有明プロジェクトの改革拠点であり、国内EC専用倉庫である有明倉庫から自動化に着手

当初、有明倉庫の自動化はダイフク社が過去手掛けた中でも、世界最大級の規模。  
常識から考えると3年の工期が必要であると言われていた



### 共働・協働

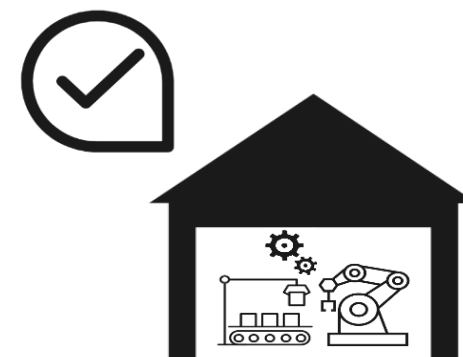
世界最先端・最大級の自動倉庫をつくるという共通の目標を持った両社の社員が、まるで1つの会社のようにワンチームで働く

何度も失敗を繰り返しながらも、目標達成のために一切の妥協をすることなく、本音で仕事をしてきた



### 成果

その結果、当初3年かかると言われていた自動倉庫は…



## 1.5年で完成

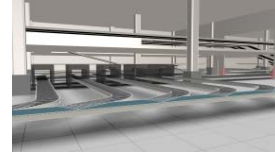
# ④ ダイフク社との取組み ～自動倉庫の機器～

## ③ 自動保管倉庫



天井まで空間を有効活用し保管効率の大幅UP

## ② RFID自動検品機



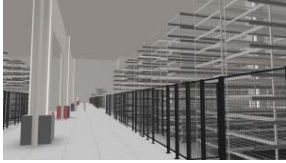
RFIDを用いて検品を完全自動化

## ⑤ QPS(Quick pick station)



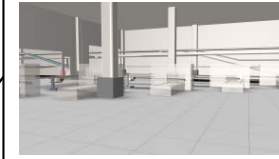
ピッキング作業の単純化

## ④ 自動出庫倉庫



自動かつ高速で商品を入出庫

## ⑦ 自動封函機



自動で内容量に合わせて配送箱の容積を適正化

## ⑨ 自動オリコンたたみ機



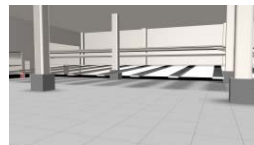
商品コンテナの片付けまでも自動化

## ① 自動入庫荷下ろし機



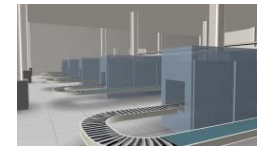
商品の積み下ろしを自動化

## ⑧ 方面別仕分けソーター

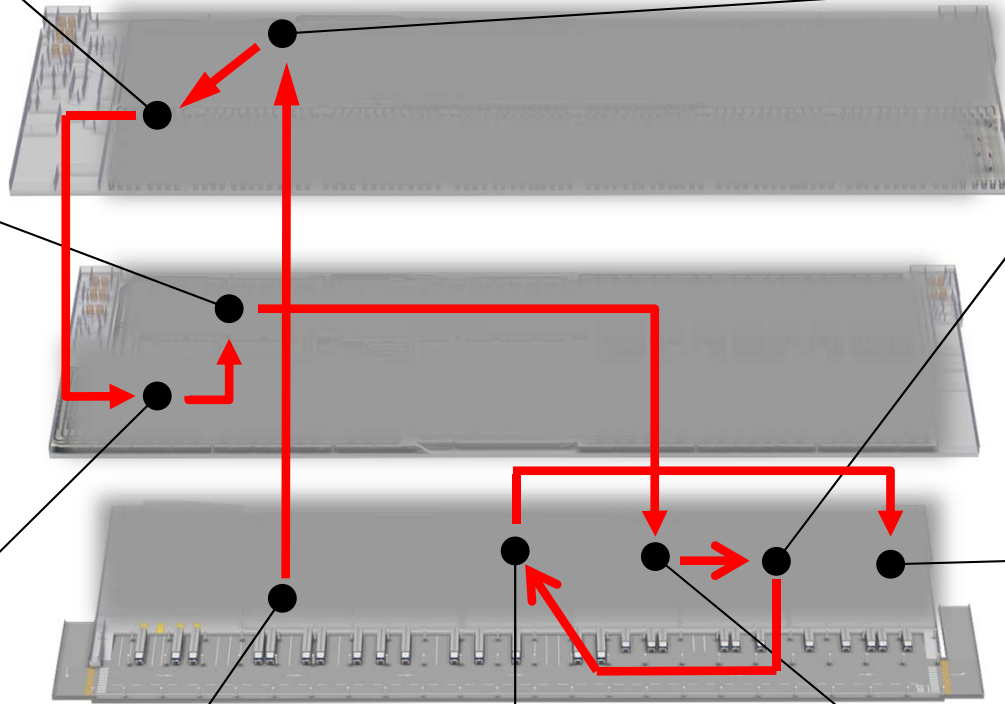


自動かつ高速での配送仕分け

## ⑥ 自動製函機



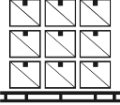
配送箱を自動で大量作成




④ ダイフク社との取組み ～倉庫自動化後の数値変化～

入庫生産性   
**80倍**

出庫生産性   
**19倍**

保管効率   
**3倍**


省人化率   
**90%**

ピッキング作業者の  
歩行数   
**0歩**

教育コスト   
**80%**  
カット

RFID自動  
検品精度   
**100%**

稼動時間   
**24時間**

AIカメラによる  
遠隔監視   
**24時間**

## ④ ダイフク社との取組み ～ ファーストリテイリングの自動倉庫～

### 世の中のEコマース企業



あれもこれも多種多様な  
商品に対応しなければいけない倉庫

### ファーストリテイリング



アパレルの自社製品だけに  
特化した倉庫

ファーストリテイリングの自動倉庫は、  
**服の専門家**だからこそつくれた  
今までにない全く新しい自動倉庫

## ⑤ 今後の展開（2018年10月9日～）





全世界全拠点での倉庫自動化